



今月の表紙は、幸田小学校の運動会「騎馬戦」です。後ろからそおつと近づく紅組の小さな笑い声に、白組の騎馬は寸前のところで気付きました。騎馬がくずれそうになりながらも必死に逃げます。このあとの展開は…  
皆さんのご想像にお任せします☆

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています  
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139

## 行って! 見て! 納得! こうたの歴史

皆さん! 今お住まいの幸田町に、町の歴史を現在に伝える場所【史跡】がどのくらい存在しているか知っていますか? 実は普段当り前のようで見ているものが非常に大事な史跡ということもあるのです。これから隔月で昔の幸田を今に伝える史跡を紹介していきます。

### 坂崎古城・坂崎城

幸田町には徳川家康に仕えた家臣団の領地や徳川家康と親戚関係にあった松平一族に関する史跡が町内各地に存在しています。幸田町北部の坂崎区には二つの城跡があります。一つは平岩氏の館が築かれていた坂崎古城(坂崎字平蔵脇) もう一つは天野氏の館が築かれていた坂崎城(坂崎の神明社の西)です。

戦国時代、平岩氏の当主であった平岩親吉は幼少より徳川家康に仕えます。その実直な人柄から家康の信頼は厚く、晩年には尾張藩主となった徳川義直(徳川家康九男)の後見役を命ぜられています。城跡は住宅街となっていますが、土塁などの城跡が残り、昔の面影も残っています。天野氏の当主で

あった天野康景は幼少より徳川家康に仕え、後に徳川家康3奉行の一人として名をはせる全国的に有名な人物です。11歳ごろまでこの地に住んでいたと言われていませう。城跡に築かれた神明社には天野氏を忘れないために『天野康景屋敷跡』と彫られた記念碑が建てられています。

[参考資料: 坂崎郷土誌、愛知県中世城館跡調査報告]

問合せ 生涯学習課生涯学習G (内線197)



## みんなの作品展!



### 【芸妓な私】

いしばし 結奴 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

## 「そそこ」

「そそこ」

もうすぐ七夕。お星さまへの願いを短冊に込めるお姉ちゃんに、ちよっぴり辛口のおいしいちゃん…

「はい。じゃー字がそそこで、聞いてちゃーくれへんぞ」

「それでは字が汚いから、かなえてはくれないうね」  
「この「そそこ」、「そそこ」がそそっかしい」だとしっくりきませんよね。

「そそこ」を漢字で書けば、「粗相」となります。「粗相」とは、「とんだ粗相をいたしました」のように、不注意による過ち、失敗をいいますが、①粗末なこと、粗略なこと、②軽率なこと、粗忽なことも意味しました。この①の意味で形容詞化したのが、この地方の「そそこ」なのです。

一方、「そそっかしい」は、②のさまを表す形容詞ですが、語源は、「粗相」ではなく、以前紹介した「そそくる」と同じく古語「そそく」ですので、「そそい」とは「他人の空似」といった関係でしょうか。

(文・つとむ)



# 青春トークリレー

△△第232走者

すずき てつや  
**鈴木 徹也** さん

野場区在住 22歳 会社員  
好きなチーム UST  
趣味 室内ホッケー

小学生のころからユニバーサルホッケーに取り組んでいます。昨年は関東の大会や県統合委員会に参加させていただき、大きく成長できた1年でした。

長年取り組んできたユニバーサルホッケーですが、今年度から協会が統合されるため、国内部門としてネオホッケーを、国際部門としてフロアボールに取り組むことになりました。フロアボールは、12年後のオリンピック競技に採用されるよう行動を起こしています。その時に、愛知県や幸田町から日本代表選手が選ばれるような夢のある環境を作っていけたらと考えています。毎週月曜日、午後8時30分から豊坂小学校の体育館で活動していますので、興味のある人は、ぜひお気軽にお越しください！



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



### わんぱく遊園

「某月某日」  
「豊坂保育園」

### ワイルドな山散歩！

豊かな自然に囲まれた豊坂保育園には、いくつもの散歩コースがあります。その一つにジャングルコースと呼ばれている所があります。

園の裏手の山に入っていくと、まず沢があります。最初は一本だった橋も、山を管理してみえる地元の方々が子ども達のために、いろいろな所に沢山の丸太橋を作ってくださいました。子ども達は、その日



の気分に合わせてルン・ドキドキしながら好きな橋を渡って行きます。さあ、そこからジャングルです。岩がゴツゴツしている所から、山の斜面を登って行きます。木々や草をかき分けよじ登り、時にはクモの巣に引つ掛かりながらも、仲間の背中を見失わないように頂上を目指していきます。頂上に着くと、

「あ〜風が気持ちいい〜」  
「保育園が見えた!」と充実感でいっぱいの子ども達です。  
そこから、次なる目的地『豊坂秘密基地』を目指して尾根伝いに歩いて行きます。秘密基地は、遊びの宝庫! つるのターザンロープ・木々で作ったお家・登りつる・木のシーソーと、次々と遊びを見つけていく子ども達。これも今までの年長さんが見つけ、代々小さい子たちを連れてきてくれて現在につながってきている姿です。こうした色々な人や自然のかかわりの中で、元気な豊坂っ子が育っているのです!

## 編集者の ちょっと わんぱく

▼先月も多く取材や金環日食、サッカー観戦など、楽しい1か月盛りだくさんの充実した1か月を過ごすことができました。



中でも印象深い取材が「大草保育園」から「あそび」はい、タイトルからして園児たちは元気だろなと想像してはいました。地元の人のご厚意で田植え前の田んぼで園児たちが自由に遊べるこの催し。いざ始めると僕の想像の8倍元気の園児たち! 自然豊かな幸田町ならではの遊び方。いいね! うん。ポケットに泥入れなくていいよ。うん。背中にとろ塗ってくれないよ。うん。うん。元気でカメラを守りながらも、元気いっぱい写真がたくさん撮れました。カメラのおじさんと遊んでくれてありがとうね! 笑



दौरानにもシャッターを切り続けた私ワイルド! その日、銭湯でリフレッシュしながら、名曲「いい湯だな」をアレンジして「いい湯だぜ」と歌っていた私ワイルド! でも、田んぼを「お風呂みたい」と首まで浸かっていた園児たちが一番ワイルドでした! みんな、この勢いで夏をワイルドに楽しく過ごさずんたぜえ! ☆(丁)